



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社

コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業支援本部長

(氏名) 大内武彦

TEL 042-359-7099

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,101	0.5	645	△27.4	680	△27.6	476	△22.4
28年3月期第2四半期	9,060	2.4	888	△8.6	939	△4.4	613	△0.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 383百万円 (△42.5%) 28年3月期第2四半期 666百万円 (△6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	38.79	—
28年3月期第2四半期	50.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	25,330	17,238	68.1
28年3月期	25,677	17,039	66.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 17,238百万円 28年3月期 17,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	4.5	2,500	10.2	2,500	5.5	1,800	12.9	146.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	12,294,400 株	28年3月期	12,294,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	17,136 株	28年3月期	17,136 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	12,277,264 株	28年3月期2Q	12,248,430 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策が継続されているものの、為替変動による影響や中国等の景気減速への警戒感から、個人消費マインドや企業の設備投資の持ち直しに足踏みが見られ、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループの業績につきましては、第1四半期は減収となったものの、第2四半期に入って補聴器の売上が回復したことに加え、医用検査機器と微粒子計測器の販売が好調に推移したことから、第2四半期累計期間では前年同期と比べて若干の増収となりました。一方、利益面につきましては、補聴器の販促活動に伴う販売費が増加した影響により減益となりました。

当第2四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	9,060	9,101	41	0.5
営業利益	888	645	△243	△27.4
経常利益	939	680	△259	△27.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	613	476	△137	△22.4

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

### (医療機器事業)

補聴器では、個人消費マインドの停滞により流通在庫が膨らんだことや、円高の影響を受けて輸出が落ち込んだことなどから第1四半期の売上が伸び悩んだものの、本年7月に中価格帯の「リオネットプレシアⅡV」、普及価格帯の「リオネットクラッセ」及び「リオネットウィー」に加え、高度・重度難聴の子ども向けの「リオネットピクシー」を発売したことによる販売の増加や、販売子会社（東京リオネット販売株式会社）を連結の範囲に含めたことなどにより、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。医用検査機器では、医療機関における買い替えを促進して拡販に努めるとともに、第1四半期に教育機関から大口の受注を獲得したことにより、診断用オージオメータやインピーダンスオージオメータなど高額製品の販売が好調に推移し、増収となりました。

これらの結果、医療機器事業全体では前年同期と比べて増収となったものの、補聴器の販促活動を積極的に展開したことなどにより販売費が増加したため、減益となりました。

### (環境機器事業)

音響・振動計測器では、都市部を中心とした建設工事の増加に伴い騒音計や振動計の販売が堅調に推移したものの、地震計において高速道路等のインフラ関連市場での販売が好調であった前年同期には及ばなかったことから、減収となりました。微粒子計測器では、電子デバイス関連市場の設備投資意欲が依然として高いことから液中微粒子計の販売が好調に推移し、大口の受注により好調であった

前年同期の売上高を更に上回りました。

これらの結果、環境機器事業全体では売上高はほぼ前年同期並みとなりましたが、微粒子計測器の売上原価率が低下したため、増益となりました。

当第2四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益		
	28年3月期 第2四半期	29年3月期 第2四半期	増減	28年3月期 第2四半期	29年3月期 第2四半期	増減	28年3月期 第2四半期	29年3月期 第2四半期	増減
医療機器事業	5,659	5,717	58	4,880	5,217	337	778	499	△279
環境機器事業	3,401	3,384	△17	3,291	3,239	△52	110	145	35
計	9,060	9,101	41	8,171	8,456	284	888	645	△243

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療機器事業では、補聴器において、新規顧客の獲得とリピーターの増加を図るため、販売店の新規出店に加えて既存店に対するきめ細かいサポートを展開するなどの施策を進めるとともに、7月に発売した新製品の拡販により、売上高の伸長を図ってまいります。医用検査機器においては、耳鼻咽喉科市場での買い替え需要が引き続き継続するものと予想しており、併せて中国を中心とした海外市場の拡大に取り組むことにより、販売は好調に推移するものと見込んでおります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、平成28年度第2次補正予算の執行により下期にかけて比較的高額な受注が増加すると予想されるほか、中国や東南アジアを中心とした海外展開を引き続き推進することで、売上高の増加を見込んでおります。微粒子計測器においては、電子デバイス関連市場での微細化に伴う設備投資による液中微粒子計の需要を確実に捉えるとともに、医薬関連市場では再生医療分野での気中微粒子計の拡販に努めることで、販売は好調に推移するものと見込んでおります。

以上のことから、連結業績予想につきましては、医用検査機器と微粒子計測器の販売が下期においても引き続き好調に推移するとともに、補聴器と音響・振動計測器の販売が年度末に向けて増加するものと見込んでいることから、平成28年4月28日に公表した数値を変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,998,098	3,519,974
受取手形及び売掛金	5,818,468	5,057,006
たな卸資産	3,670,138	3,672,002
その他	876,350	846,315
貸倒引当金	△17,567	△21,475
流動資産合計	13,345,487	13,073,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,166,982	2,118,741
土地	6,401,614	6,401,614
その他(純額)	950,189	981,395
有形固定資産合計	9,518,785	9,501,751
無形固定資産		
投資その他の資産	623,705	676,051
その他	2,278,917	2,082,245
貸倒引当金	△89,208	△3,026
投資その他の資産合計	2,189,708	2,079,219
固定資産合計	12,332,200	12,257,021
資産合計	25,677,687	25,330,844
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,248,594	1,315,174
1年内返済予定の長期借入金	616,472	526,472
未払法人税等	265,112	132,854
未払費用	231,359	182,705
賞与引当金	817,809	835,870
製品保証引当金	177,274	179,629
返品調整引当金	53,955	54,685
その他	203,285	153,887
流動負債合計	3,613,862	3,381,279
固定負債		
長期借入金	495,362	272,126
退職給付に係る負債	2,860,537	2,763,829
その他	1,668,794	1,675,413
固定負債合計	5,024,694	4,711,369
負債合計	8,638,557	8,092,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,014,613	2,014,613
資本剰余金	2,438,112	2,438,112
利益剰余金	8,655,446	8,947,540
自己株式	△10,138	△10,138
株主資本合計	13,098,034	13,390,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,855	399,335
土地再評価差額金	3,545,298	3,545,298
退職給付に係る調整累計額	△85,057	△96,566
その他の包括利益累計額合計	3,941,096	3,848,067
純資産合計	17,039,130	17,238,195
負債純資産合計	25,677,687	25,330,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,060,627	9,101,694
売上原価	4,345,767	4,273,891
売上総利益	4,714,859	4,827,803
販売費及び一般管理費	3,825,895	4,182,691
営業利益	888,963	645,112
営業外収益		
受取利息	2,574	1,503
受取配当金	20,191	9,802
受取家賃	14,361	24,051
受取保険金	8,291	5,772
その他	17,030	11,966
営業外収益合計	62,448	53,096
営業外費用		
支払利息	6,857	3,649
支払手数料	4,303	12,141
その他	324	1,605
営業外費用合計	11,485	17,396
経常利益	939,926	680,811
特別利益		
固定資産売却益	-	106
投資有価証券売却益	17	-
新株予約権戻入益	1,998	-
特別利益合計	2,015	106
特別損失		
固定資産除却損	3,025	2,887
特別損失合計	3,025	2,887
税金等調整前四半期純利益	938,916	678,030
法人税、住民税及び事業税	283,502	163,895
法人税等調整額	41,617	37,882
法人税等合計	325,120	201,777
四半期純利益	613,796	476,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	613,796	476,252



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	613,796	476,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,313	△81,519
土地再評価差額金	4,091	-
退職給付に係る調整額	3,285	△11,509
その他の包括利益合計	52,690	△93,028
四半期包括利益	666,486	383,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666,486	383,224
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	938,916	678,030
減価償却費	300,838	298,315
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,492	2,512
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,791	8,416
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	4,714	2,355
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△952	729
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△96,913	△113,354
受取利息及び受取配当金	△22,765	△11,305
支払利息	6,857	3,649
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17	-
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3,025	2,780
売上債権の増減額 (△は増加)	1,068,400	700,057
たな卸資産の増減額 (△は増加)	33,220	8,965
仕入債務の増減額 (△は減少)	△276,750	66,537
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△70,650	△46,709
その他	79,849	9,609
小計	1,927,473	1,610,590
利息及び配当金の受取額	22,853	11,305
利息の支払額	△6,932	△3,614
法人税等の支払額	△406,606	△306,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536,788	1,311,702
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△3,803	21,202
有形固定資産の取得による支出	△159,962	△177,025
有形固定資産の売却による収入	-	160
無形固定資産の取得による支出	△119,376	△167,683
投資有価証券の売却による収入	4,809	3,718
その他	△4,716	△15,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,049	△334,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△413,336	△313,236
社債の償還による支出	△80,000	-
ストックオプションの行使による収入	41,680	-
配当金の支払額	△194,577	△184,009
その他	△1,345	△1,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647,578	△498,654
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	606,161	478,147
現金及び現金同等物の期首残高	2,466,702	2,798,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	64,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,072,863	3,342,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,659,050	3,401,576	9,060,627	—	9,060,627
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,659,050	3,401,576	9,060,627	—	9,060,627
セグメント利益	778,839	110,123	888,963	—	888,963

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,717,303	3,384,391	9,101,694	—	9,101,694
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,717,303	3,384,391	9,101,694	—	9,101,694
セグメント利益	499,744	145,367	645,112	—	645,112

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	4,647,891	1,011,158	1,859,227	1,542,349	9,060,627

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	4,631,080	1,086,223	1,826,268	1,558,123	9,101,694